

# 沖縄県で初めて PFOS 及び PFOA の 処理施設として認められました。

これまで沖縄県内において PFOS 及び PFOA を処理出来る施設はありませんでした。そのため県外の処理施設に搬出するなど高いコストをかける必要がありました。しかしこの程、下記の通り弊社セメント製造設備にて PFOS 及び PFOA の分解処理確認試験を行い、基準の達成が確認されたため、処理施設として認められました。

(沖縄県で初、日本のセメント工場で初)

今後は法規制等を遵守の上、沖縄県で唯一の PFOS 及び PFOA 処理施設として地域社会に貢献して参ります。



琉球セメント(株)屋部工場  
セメント焼成用回転窯

## 1、確認試験の概要

(1) 試験施設 琉球セメント(株)屋部工場(名護市字安和1008番地)

(2) 試験実施日 2022年11月21日～11月23日

・PFOS 処理(燃焼ガス温度 約 850℃以上、滞留時間 2 秒)

・PFOA 処理(燃焼ガス温度 約 1,000℃以上、滞留時間 2 秒)

## 2、試験結果について

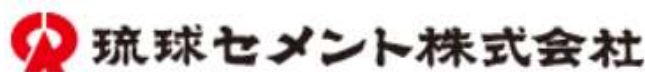
確認事項	測定項目	達成すべき分解効率、 管理目標値※1		測定結果	
				PFOS	PFOA
分解効率	PFOS・(PFOA)	99.999	%以上	99.99986	(99.9947)※2
排ガス	PFOS・PFOA	60	ng/m <sup>3</sup> N 以下	<0.1	<1
残さ(クソカ)	PFOS・PFOA	5	μg/kg-dry 以下	<0.001	0.007
残さ(ばいじん)	PFOS・PFOA	5	μg/kg-dry 以下	0.11	<0.01
排ガス	フッ化水素	5	mg/m <sup>3</sup> N 以下	<0.5	

※1 排ガス・残さの PFOS・PFOA 管理目標値は技術的留意事項に記載の管理目標参考値と同値

※2 PFOA については、試料の濃度が 50mg/kg 未満のため、分解効率は参考値扱い

セメント工場では製品の製造に 1,450 度の高温を有する回転窯を使用しており、その特性を利用して様々な廃棄物の処理が出来、「究極のリサイクル工場」と言われております。今回もその設備を活かした処理となります。

「郷土の資源で郷土をつくる」



「沖縄県内でご用命の際はご連絡下さい。」

浦添市西洲 2 丁目 2 番地 2

環境事業部 098-870-1076